

事例紹介

静岡県磐田市立 竜洋西小学校

りゅうようにし

学習履歴を指導に活かす！

～ 即時フィードバックで、きめこまやかな個別指導 ～



竜洋西小学校では、解説教材で要点を整理したり、学習履歴型ドリルで先生がクラスの理解度を把握し、すぐに児童にフィードバックしたりと様々な場面でeライブラリを指導に取り入れています。

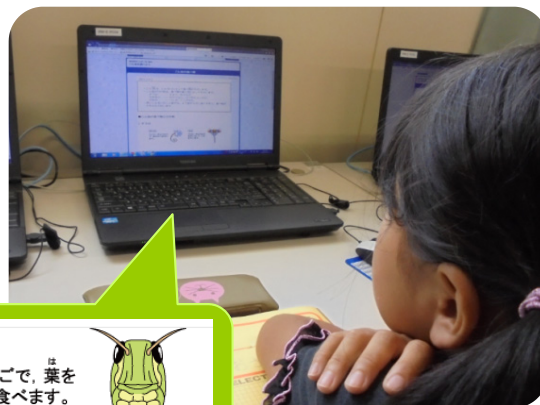
理科 解説教材で学び、ドリルで定着！

3年生理科の「こん虫を調べよう」の授業では、解説教材やドリルを使って、食べ物と昆虫の顔の形の関係を学びました。

● こん虫を調べよう

この日の授業では、「こん虫の食べ物と顔の形は関係があるのだろうか」をテーマに、各自で予想した後、先生が用意した様々な昆虫の写真やeライブラリの解説教材を見て関係性を考えました。

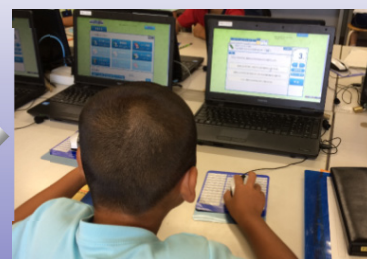
最初は「関係ないと思う」という意見が多数でしたが、授業が進むにつれて「食べるものによって、口の形が違う！」という声がクラスのあちらこちらで上がるようになりました。



様々な昆虫の写真を見て考える



解説教材で考えをまとめる



ドリルで定着を図る

● 確認問題にみんなでチャレンジ

児童が昆虫の口の形に注目するようになったところで先生が要点をまとめ、ここからはドリルと確認問題で定着を図る時間です。

まずは先生から出題された課題ドリルに各自で取り組み、次に画面転送を使ってクラス全員で確認問題の答えを考えます。確認問題に挙手して答えた児童は先生機でめくりシールをはがす役目をもらえるため、我先にと手が挙がっていました。



▲「わかった！」と勢いよく手が挙がります

外国人児童も意欲的に参加

▼昆虫調べにワクワク！

皆で学んだ後は、再び各自でドリルに取り組みます。言葉の壁もあって普段の一斉授業では主体的に参加できないこともあるという外国人児童も、知らない昆虫を百科事典で調べながら、楽しそうに学習していました。



*ゲンゴロウ【(源五郎)】

池や沼流れのゆるやかな川にすむ水生昆虫。最近では、幼虫も肉食性でほかの昆虫などを食べるが成虫は弱った魚がひとくはわたがたがあるもので兼手づかみことはきけない。住居は川や池の底に産卵する。種類 コウチュウ目 ゲンゴロウ科



主幹教諭 岡本 正彦 先生のお話

一斉学習の中で見落としとしてしまったりフォローしきれない児童がいることに悩んでいる先生が多い中、eライブラリの学習履歴を使うと、**十分に理解できていない内容がはっきりと分かるので、早い段階で個別にフォローすることができます。**

一斉に学ぶ場面と個に戻す場面の使い分けを意識し、教師が意図をもって授業でeライブラリを活用することが大切だと感じています。

算数

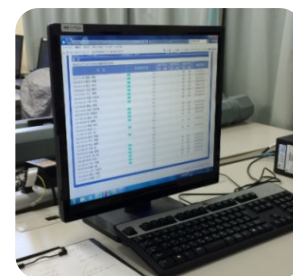
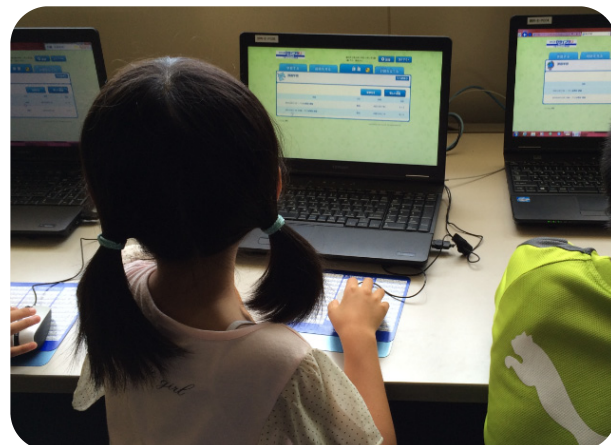
わり算グランプリで、課題ドリルに挑戦！

課題や目標が、意欲を高める！

3年生のわり算の学習の前には、かけ算九九が完全に習得されていることが望ましいのですが、実態としてはそのようになっていません。そこで、eライブラリを活用すれば、**個別に九九の習得状況を確認しながら、系統的にわり算の学習を進めることができます。**かけ算九九の完全習得と定着のためには、3年生になっても継続的に練習を行うことが必要です。そうすることで、わり算の理解度も上がることが分かりました。

先生からの課題は、かけ算の基礎の復習に始まり、かけ算の挑戦問題、わり算の問題と徐々にステップアップしていきます。**ステップごとに「3分で100点！」「リトライなしで100点！」といった目標が先生から大きな声で伝えられると、児童は目標達成を目指して真剣に学習していました。**

児童がドリルを行う間、担任の清水先生は先生機で学習履歴を確認し、達成できていない児童に丁寧に個別指導を行っていました。



▲先生は学習履歴を確認して、個別指導を行います

3年3組担任 清水 道広 先生のお話



採点が自動的に行われ、学習履歴が残るeライブラリのよさを活かして指導に取り入れるよう心掛けています。**「後で先生が採点してから」では実現できない、学習結果の即時フィードバックができるのが魅力だと感じています。**

また、学習効果を考慮し、**集中力が続きやすい15分単位で区切って**ドリル課題を与えるようにしています。今後は、課題をクリアすると「わり算マスターカード」がもらえるといった意欲づけも模索していきたいと考えています。